



当院では毎年、職員の向学心の向上を目的に院内研修会を開催しています。今年も当院13部門、熱心に研究発表に取り組みました。



医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

基本方針

1. 良質な医療提供に関する事項

患者様本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院を目指します。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

2. 患者様に対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者様中心の精神を持って行動します。

3. 患者様の権利の尊重に関する事項

患者様の権利章典を制定し、常に患者様の権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

4. 職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。

医局紹介コーナー

この度、当院に赴任してきました 整形外科 石澤暢浩先生 の紹介です



整形外科 石澤暢浩 医師

この度、4月から藤原記念病院に赴任いたしました石澤です。秋田組合総合病院ではスポーツ外来とリウマチ、膝関節を中心とした関節外科、リハビリをやってまいりました。これからは、潟上、男鹿方面での医療に貢献したいと存じますので、宜しくお願い致します。

それでは私の診療分野の紹介をしたいと思います。

まずは関節リウマチです。リウマチの治療は生物学的製剤の開発により、今世紀最大の発展を遂げたといつてよいほどその治療法は進歩し、もう一息でリウマチが治るといところまでまいりました。そして今までのリウマチの治療は180度変わったものとなりました。現在は関節の破壊を生じる前に、リウマチをコントロールすることが最大の焦点となっております。そのためには超早期にリウマチの診断をつけ、治療を開始することが重要です。

リハビリにおいては、脳血管、運動器、呼吸器、心疾患と大きく4つに分類されました。当院では運動器リハビリを中心に、腰椎疾患、膝や肩の障害に対する筋力訓練、術後の患者さんの機能回復、スポーツ障害のスポーツ復帰までのリハビリを行っています。しかし、厚生労働省の医療制度改革により、リハビリ期間が限定され、維持的リハビリは全く認められなくなりました。そして、リハビリ難民の問題が大きく取り上げられました。今回改正が行なわれたとはいうものの、期間を超えるものについては、1カ月ごとにリハビリ効果の有無について報告を義務付けられています。なかなか患者さんの満足がゆくまでのリハビリが出来ないのが現状です。

整形外科疾患としては関節障害を中心に診療を行っています。従いまして、手術も関節鏡を中心とした靭帯再建術、人工関節などを行っています。当院ではMRIやCTがほとんどその日のうちに出来るので診断から治療までの時間が短縮できます。

できるだけ幅広い診療を心がけておりますので、これから宜しくお願い致します。

整形外科外来

	月	火	水	木	金	土
担当医	石澤医師	石澤医師	岡田医師	石澤医師	石澤医師	石澤医師
受付時間	14:00まで	11:00まで	12:00まで	14:00まで	12:00まで	12:00まで



当院関連施設

…出戸診療所のご案内…

当院は、午後の内科外来が休診となっております。そこで当院の関連施設である出戸診療所を是非ご利用頂けます様、お願い致します。

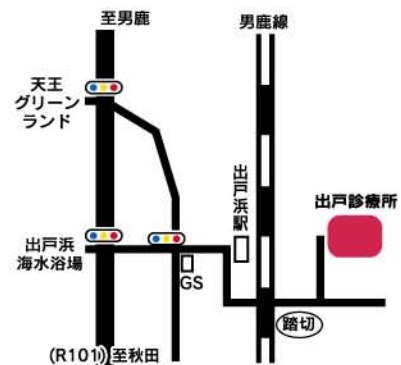
・診療時間及び場所につきましては下記のとおりです。



出戸診療所 診療時間

	月	火	水	木	金	土
<午前> 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
<午後> 1:30~5:30	※ 下記参照	○	休診	○	○	休診

※月曜日のみ午後の診療は、2:30~4:30とさせていただきます。



“岩盤浴”の
すすめ



石からマイナスイオンが放出？

岩盤浴とは42～44℃前後に温めた石の上に、タオルやゴザを敷き、そこに寝て体を温めるというものです。石からは遠赤外線が放射されるので、これにより体が芯まで温まるというわけです。

湯の中に入らない入浴法は「サウナ」が一般的ですが、サウナと岩盤浴とは、浴室内の温度が大きく違います。サウナの浴室内は100℃近いですが、岩盤浴の場合は石の温度とほぼ同じ42～44℃前後です。そして石からは、空気のビタミンといわれるマイナスイオンが大量に放出されているといえます。

良い汗を出す「汗腺トレーニング」

岩盤浴の一般的な入り方は、入浴前にまず喉を潤す程度の水を飲み、約20分浴室で体を温めます。このとき、最初は仰向けになったり、うつ伏せになったりと体の両面をまんべんなく温めるようにすると良いでしょう。その後5～10分程度の休息を取り、室温で体を冷やし、再び20～30分ほど浴室で体を温めます（水分補給はこまめに行なう）。

結果、大量の汗をかくことになります。

岩盤浴が体にもたらす主な健康効果としては、まず「温熱効果」があります。

岩盤浴は、サラサラの汗をかくための「汗腺トレーニング」に適した方法で、これまで汗腺の働きが十分でなかった人が汗腺トレーニングをすると、体の代謝も良くなります。代謝が良くなれば、やせやすい体質に変わることも期待できます。

さらに、岩盤浴の温熱作用により血行が良くなると、血液の流量が増加し尿の量が増えて、排出される有害ミネラルの量も増えるというわけです。

現在、岩盤浴の設置施設や店舗の普及により、遠くの温泉まで行かなくとも気軽に岩盤浴を利用できます。体の代謝が気になる方は一度試してみたいかがでしょうか？

各部門紹介コーナー

今回は 医療技術部『薬剤科』の紹介です

薬剤科概要

—主な業務—

- 1) 調剤業務・・・飲み合わせの悪い薬や、効果が同様の薬が処方されていないか等、処方箋記載内容を確認し調剤する。また、患者様が服薬(使用)する上で必要な情報を提供する。
- 2) 注射薬提供業務・・・処方箋により個々の入院患者様の注射薬を取り揃える。
- 3) 医薬品情報提供業務・・・医薬品の情報収集と情報提供。
- 4) 医薬品の管理業務・・・医薬品の管理。

スタッフ：薬剤師 4名 事務 1名

薬剤科アピール

<薬剤科理念>

私達は患者様のどんな小さな訴えにも耳を傾け、正確な目と的確な判断で薬物治療を支えます。

<薬剤科目標>

医薬品の品質管理、情報収集並びに情報提供、服薬指導などを通し、患者様が安全で、且つ有効な薬物療法及び検査が行なえるよう、薬剤科全員で日々努力します。

◎医薬品について、あるいは医薬品を使用する際にご不明な点などありましたら遠慮なくご相談下さい。

<薬局長 小田 実>



スタッフから一言

いつも明るく元気な笑顔で頑張ります！

安全で、有効な薬物治療のために積極的に取り組んでいきます。

正確な調剤、正確な薬の情報伝達を心がけています。

新人ですが、日々多くのことを吸収して頑張っています。



病院機能評価認定を受けて



院長 白山 公幸

当院は、財団法人 日本医療
評価機構の病院機能評価
(Version 5.0) に平成19年
1月22日付けで認定されま
した。



国民が適切で質の高い医療を安心して享受できることは、医療を受ける立場からは無論のこと、医療を提供する立場からも等しく望まれているところです。

国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図るために、病院をはじめとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関として **(財)日本医療機能評価機構** は設立されました。

病院機能評価は、(財)日本医療機能評価機構により、医療機関を総合的に評価・分析し、問題点の改善に努め成果を上げている病院には、その内容を保証するものとして認定証が発行されるものです。

その評価項目として、以下のごとく大きく6項目があります。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1) 病院組織の運営と地域における役割 | (4) 医療提供の組織と運営 |
| (2) 患者の権利と安全確保の体制 | (5) 医療の質と安全のためのケアプロセス |
| (3) 療養環境と患者サービス | (6) 病院運営管理の合理性 |

それぞれに中項目、小項目があり当院では約450項目に関して評価を受けました。

平成19年1月22日付けでの認定は51病院（新規認定31病院）であり、そのうちVer.5.0での認定は39病院（新規認定19病院）でした。今回の認定により、日本の全病院9014のうち2299（約1/4）が認定されたこととなります。

病院機能評価受診の意義は、受審をきっかけにして病院の現状の評価を行うこと、それにより病院環境や医療の質を良くするしくみを作り上げること、認定を受けるための努力が職員の業務改善やサービス改善等の意識改革に役立つことなどがあげられます。



医療機関が提供する医療サービスは、医師、看護師をはじめとする様々な専門職種の職員の技術的、組織的連携によって担われています。患者様のニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的に提供して行くために、組織体として病院機能の一層の充実・向上を図る必要があります。それを実現するために努力したひとつの結果として当病院をご利用いただくすべての方に知らせるとともに、叱咤、激励いただければ幸いです。

予防接種について

予防接種には、費用が補助されるものと、自費の料金負担となるものがあります。接種を受けるか、受けないか・・・義務ではありませんのでご両親の判断に委ねられます。しかし、感染症からお子様を守る為の予防接種ですので、受けるようにしましょう。

下記は医療機関で受ける個別接種となっている予防接種名です。

※BCGについて～潟上市では、BCGの集団接種がなくなり、個別接種となりました。接種を実施している医療機関を確認してください。（当院では実施しております）

予防接種名	費用の補助が対象となる接種期間 （“未滿”とは誕生日より前になります）	間 隔		自費で接種する場合の金額
3種混合 〔百日咳〕 ジフテリア 破傷風	1期：3回接種 ：生後3ヶ月～90ヶ月（7歳6ヶ月未滿）	1期	それぞれ3週～8週あける	5,239円
	1期追加：1回接種 ：生後3ヶ月～90ヶ月（7歳6ヶ月未滿）	1期追加	1期3回目終了時より最低6ヶ月以上 〔基準は1年～1年半〕程度	
	2種混合 〔ジフテリア〕 破傷風	小学6年生のみ：1回接種		5,470円
麻疹・風疹混合	1回目：1歳～2歳未滿 2回目：5歳～7歳未滿（ただし、年長の1年間（小学校就学前の1年間）に限る） 注）麻疹もしくは風疹のいずれかにかかったことのある人は、もう一方のワクチン単独接種となります。（この場合、上記期間内であれば補助の対象となります）	27日間以上		11,000円 ※麻疹・風疹を別々に接種した場合は1種類につき8,200円の負担となります。
おたふくかぜ	費用補助の対象ではありません。 （接種年齢：1才以上：1回接種）	27日間以上		6,500円
水痘 （みずぼうそう）		27日間以上		7,850円
BCG	生後3ヶ月～6ヶ月未滿：1回接種	27日間以上		8,295円

※ 上記は潟上市のものです。

※ 麻疹の単独予防接種の場合は、事前にご予約して頂いております。当院の小児科までお電話ください。

～ 詳しくは、当院小児科外来へお尋ね下さい～

* 予防接種に必要なもの *

- ◎診察券 ◎母子手帳
- ◎予診票(病院でも用意しております)

* 受付時間 *

- ◎火曜日・水曜日・金曜日 13:30～14:30
- 総合案内窓口へお申し出下さい。
- ※健診などで不在の場合があります。事前の確認をお薦めします。

注1) お子様の状態や体質によって予防接種できるかが判断されます。かかりつけ医に相談しましょう。

注2) ワクチン接種後は副反応の出現に注意し、観察しておく必要があります。また、ワクチンによって副反応が違います。予防接種を受けるうえで、副反応について理解しておく必要があります。予防接種担当の医師のお話や説明書を参考にしてください。

注3) 摂取後30分は経過観察が必要です。アナフィラキシーというアレルギー反応が起こる可能性があります。発汗、顔が急に腫れる、全身にじんましんが出る、嘔気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状がみられたら、すぐに申し出てください。

注4) 集団接種を行っているポリオワクチンについて（ポリオは通常、春と秋に実施します）
ポリオを接種し、次のポリオ接種までの間隔は6週とされていますが、次に受ける接種項目がポリオ以外のものだと間隔は4週となっています。

診察のご案内

- 外来診療：平日／9：00～17：00
土曜／9：00～12：00
- 休診日：日曜日・祝祭日・盆休（8月13日）
年末年始（12月31日～1月3日）
- 診療科案内：内科・外科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・
泌尿器科・胃腸科・肛門科・循環器科・呼吸器科・
アレルギー科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・
放射線科
- 人間ドック：随時受け付けています。



病院からのお知らせ

- 平成19年2月からの内科外来は、木曜日を除いて午後休診となります。
- 整形外科に常勤医師が赴任いたしました。診療時間については中面をご覧ください。



Fujiwara Memorial Hospital

藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~keitoku/>

編集後記

中面でお伝えしておりますとおり、当院では病院機能評価の認定を受けることができました。多くの職員が認定に向けて時間を割いておりましたので、この結果はとてうれしいものでした。と同時に、これに満足する事なく医療サービスの充実・向上を目指してまいります。

外の空気が暖かくなり、外出時の上着や衣服が徐々に薄くなってきました。油断して風邪などひかないように気を付けましょう。

特選！受付のお花

いつも患者様にご好評頂いている受付の花を特選し、紹介します。

Paeonia(パエオニア、ペオニア)は、ギリシャ神話の“医の神”「Paeon」の名に由来するそうです。神話ではオリンポス山から取ってきたシャクヤクの根によって、黄泉(よみ)の国王「プルート」の傷を治したといわれます。

日本の場合、昔の言葉で「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」といえば美女を指す言葉で、すらっとした清楚な感じの花がたおやかな女性の美しさ思わせます。ポタン(牡丹)とよく似ていますが、牡丹は“樹木”、芍薬は“草”に分けられ、芍薬は牡丹が咲き終わるのを待つようにして咲きます。



学名

Paeonia lactiflora

分類：牡丹(ぼたん)科

●別名：花の宰相

●花言葉：生まれながらの素質

なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)